

ダイバーシティ委員会通信 Vol. 16

2025年 10月

大学祭に向けた活動を進めています！

ダイバーシティ委員会では、今年度も大学祭への出店を予定しています。現在、委員会内で企画についての話し合いを重ねており、準備が本格的に始まりました。

昨年度は、リボンレイの作成と、通信ポスターの掲示・配布を行いました。

たくさんの方に足を運んでいただき、交流の場としても有意義な時間を過ごすことができました。今年度は、リボンレイの作成に加え、ダイバーシティ委員会の活動や「多様性」についての理解を深められるような新たな企画を用意しています！委員会のメンバーも増えたことで、たくさんのアイデアを持ち寄りながらより一層充実した内容を目指して取り組むことができています。昨年度の経験を活かしつつ、さらに多くの方に楽しんでいただけるよう、準備を進めています。

大学祭まで1ヶ月を切りましたが、当日はぜひ一度足をお運びください！！



映画の鑑賞会を行いました！

先日のダイバーシティ委員会では、「Shine」という映画を鑑賞しました。この映画は、実在の天才ピアニストの半生を基に描いた作品であり、プレッシャーやストレスから精神を病みながらも、音楽の世界に復帰した主人公の道のりを描いた感動作です。鑑賞後には、感想を共有し合いました。

鑑賞した委員からは、「病気になれば何もできないという印象だったが、大切なものはずっと変わらず、それが人生を輝かせているのが素敵だった。」、「病気でも生きしていくことをあきらめない姿が印象的だった。」などさまざまな意見が出て、映画のテーマについて深く考える良い機会になりました。興味のある方は、ぜひ一度ご鑑賞ください！



コラム

書籍編



『南京事件論争史：日本人は史実をどう認識してきたか』一笠原十九司

南京事件は長年にわたり絶え間なく論争の対象となっていました。

中国をはじめとする国際社会が日本の対応を批判する理由も、本書で詳しく紹介されています。

国際関係や違う歴史認識に興味がある方はぜひ読んでみてください。

書籍編



『コンビニ人間』一村田沙耶香

社会の【普通】に縛られながら生きる主人公の姿を描いた物語です。

主人公の葛藤や周囲とのずれが表現されています。心理学でいう「社会的同調」や「アイデンティティ形成」と深く関わっています。「普通とは何か」「自分らしく生きるとはどういうことか」を考えるきっかけになる一冊です！

映像編



和の夢チャンネル

日中間の偏見をなくし、真実を伝え、印象を変えていくのに努めている中国と日本のドキュメンタリーを作るのに専念する会社です。Youtubeのチャンネルにたくさんの動画がアップロードされており、いろんなシリーズがあります。おすすめとしては [zoomで日本の若者にインタビュー](#)
[中国在住日本人にインタビュー](#)
[コロナ後の武漢の様子](#)などがあります！

映像編



『インサイド・ヘッド2』

主人公ライリーの心の中にある感情【喜び・怒り・悲しみ・恐れ・嫌悪】に【不安・羨望・恥】が加わり、心のバランスが揺れ動きます。

大学生は、ちょうど主人公ライリーと同じ「思春期～青年期」の心理発達段階にいるのでリアルに共感できると思います。感情の大切さや複雑さを考えてくれる作品です！

今月の1Word！「カルチュラル・コンピテンス」

この言葉は、文化や価値観の違いを理解して、それらを尊重しながら適切に関わる力を指します。例えば、言葉や習慣、宗教などの背景が異なると、接するときに自分の常識を一方的に押し付けるのではなくて、相手の文化に配慮して行動するということが大切です。留学生の交流や、アルバイト先で多国籍の同僚と働くときなどに、この力があると円滑なコミュニケーションに繋がります。多様性を“知っている”だけでなくて、実際に”対応できる”力として重要視されています。

随時メンバー募集中！！

下記 URL から見学・参加の申し込みを受け付けています。
皆様のお申込みをお持ちしています！

<https://forms.gle/8VDLRZsg3J2S3joYA>

